

石狩地域リハビリテーション広域支援センター

目標：住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを医療・保健・福祉関係者及び住民の総意でつくる

方法：札幌圏域は広域であり、また、医療の中心が札幌市内に集中しているため、当支援センターの対象地域である札幌市を除く5地区（江別・石狩・千歳・恵庭・北広島）に地区懇談会を設け、各地区に連携構築を推進し、各地区が成熟した段階で札幌市内の連携パス等地域ネットワークとの連携を目指している。

活動

- ・総会及び理事会（年1回）
- ・運営委員会（職能・地区懇談会代表者
年6回程度）
- ・全体の研修会（年1回）
- ・5地区懇談会（年3～6回程度）
- ・5地区懇談会地区研修会等（年1回
程度）
- ・講師バンク

活動の達成度

1. 仲間共通目標をつくる
2. 街の資源をさぐる
3. 資源を分析
4. 問題点、必要なことをさぐる
5. 戦略を練る。優先順位を決定
6. 多領域に「部会」を作り、ニーズを出し合い、問題解決
7. 領域同士、部会同士の融合
8. 資源を開発（技術、育成）



5地区の懇談会の進捗状況に差異はあるが、関係職種との連携はとれてきている。各地区懇談会の戦略目標が立てられた。

活動の問題点等

札幌を切り離して考えていくことが難しい地域のため、札幌との接点をどのようにとっていくかが課題となっている。

補助金が平成22年度で終了するため活動資金の確保

各地区の資源・地区特性に応じた取り組みを行っているため、圏域としての取り組み状況が見えにくい。

今後の組織の目的の再度の明確化

アピール活動

地区懇談会活動は地域の特性にあわせてユニークな取り組みを活発に行っている。

他圏域に

札幌と隣接している圏域はどのようにつながりを持っているのか聞きたい。